

(ご参考) 以下は 2008 年 9 月 23 日にクライスラー社から発表された  
プレスリリースの日本語訳版です。

2008年9月23日

## クライスラー、量産へ向けた電気自動車で一気に加速 先進の電気駆動自動車のプロトタイプ 3モデルを発表

- 2010年に北米市場で、2010年以降には欧州市場での市販を計画
- 2009年には約100台のクライスラー電気自動車が政府、企業、公共事業、クライスラー 開発向け車両として、公道走行を開始
- 同社電気駆動技術を前輪駆動車や後輪駆動車、ボディオンフレームの4WDプラットフォームにも拡大を予定
- ダッジEV: 100%電動走行の高性能スポーツカー
- ジープEV: ラングラーにレンジエクステンダー(航続距離延長装置)を搭載。ユーザーは 地球を気ままに走りながら、地球を守ることも可能に
- クライスラーEV: タウン&カントリーにレンジエクステンダー(航続距離延長装置)を搭載した電気自動車
- クライスラーとゼネラル・エレクトリック社、米国エネルギー省と共同プロジェクトへ

ミシガン州 アーバンヒルズ — 行動は言葉より雄弁である。

クライスラー社は本日、クライスラー社とENVIが、量産を目指した新しい先進電気駆動技術パッケージをそれぞれクライスラー、ジープ、ダッジ向けの3モデルに搭載して導入する計画を発表しました。

クライスラーでは電気駆動モデルを1つ選択し、2010年に北米市場で、2010年以降には欧州市場で市販する予定です。また、2009年には約100台のクライスラー電気自動車が政府、企業、公共事業、クライスラー開発向け車両として、公道走行を開始します。

クライスラーは、量産を目指した先進電気自動車の開発は十分に進んでおり、今後数年間で電気駆動技術を前輪駆動車や後輪駆動車、ボディオンフレームの4WDプラットフォームにも拡大していく予定であることを明らかにしました。

本日、クライスラーはアーバンヒルズに位置するワールドヘッドクォーターにて、電気駆動システムのプロトタイプであるダッジEV、ジープEV、クライスラーEVを発表し、その走行性能と実力を実際に示しました。

クライスラーの会長兼最高経営責任者、ボブ・ナーデリは次のように話しています。「私たちに環境に優しく、燃費の良い、先進の電気自動車を提供するという社会的な義務があります。迅速に、しかも他の自動車メーカーよりも早くこの責任を果たすことが私たちの目標です。今回のクライスラー、ジープ、ダッジへの電気自動車プロトタイプを発表により、きわめて近い将来の展望が見えてきました。そしてこれは、私たちが真剣であり、電気自動車の量産に向け開発が順調に進んでいることの証でもあるのです。」

## **ENVI**

クライスラーの電気自動車およびレンジエクステンダー搭載電気自動車の開発はENVI部門（環境「environmental」の頭から4文字を取った名称）が担当しています。ENVIは電気量産自動車および関連する先進技術を確立するための社内組織です。将来のクライスラー、ジープ、ダッジ製品に対する電気駆動システムの開発は、急速に成熟しつつあります。

副会長兼社長、トム・ラソーダは次のように話しています。「ENVIはわずか1年前に、クライスラーの電気自動車の開発を促進する目的で戦略的に作られた組織ですが、期待を超える成果が上がっています。クライスラーはENVIによって、電気自動車およびきわめて燃費効率の高いレンジエクステンダー搭載電気自動車を市場へ送り出すための技術の開発を推し進めています。」

## **電気自動車技術**

クライスラーの電気自動車に使用されているのは基本的に、わずか3つのコンポーネントです。それは、ホイールを駆動する電気モーター、電気駆動モーターに電力を供給する先進のリチウムイオンバッテリー、エネルギーの流れを制御するコントローラーの3つ。この電気駆動システムは、前輪駆動車や後輪駆動車、ボディオンフレームの4WDプラットフォームに対しても開発が進められています。

商品開発担当上級副社長、フランク・クリーゴンは次のように話しています。「この技術を使用することで、排出ガスゼロで150~200マイル(241~321km)の航続距離を持つ車両を開発することができました。通常、アメリカでは80%近くの人々が1日40マイル以下、年間で1万4,000マイル(22,531 km)以下しか走行しませんから、アメリカでの日常走行距離を大きく上回ることになります。クライスラーの電気自動車は、社会的な責任を果たし、化石燃料への依存を減らし、月々のガソリン代を減らすことに貢献する一方で、ユーザーの望む性能やユーティリティも犠牲にしていません。

## **レンジエクステンダー搭載電気自動車技術**

レンジエクステンダー搭載電気自動車では、小型のガソリンエンジンの付属した電気自動車の電気駆動コンポーネントに一体型の電気ジェネレーターを組み合わせることで、必要な場合にエネルギーを生成し、電気駆動システムに電力を供給することができます。これにより、性能に妥協のない、現代のガソリンエンジン搭載車と同等の航続距離を持つ、電気自動車を実現しました。

レンジエクステンダー搭載電気自動車は、環境への責任を果たしながらも、航続距離、快適性、ユーティリティを犠牲にしていません。

## ダッジ EV

ダッジ EV 開発電気自動車は 2 人乗りの後輪駆動スポーツカー。高性能を排出ガスゼロで実現しました。

先進車両エンジニアリング担当副社長 兼 ENVI 代表のルー・ローズはこう話しています。「ダッジ EV は、電気自動車に求められるものに対する新しい基準を作り上げました。クライスラーの電気自動車技術は走りの楽しい高性能スポーツカーを可能にし、ダッジブランドの環境に優しい車両というビジョンの再定義に一役買っています。」

この電気駆動システムは基本的に、200kW(268HP)の電動モーター、先進のリチウムイオンバッテリー、一体型パワーコントローラーの 3 つのコンポーネントで構成されています。

最高出力 200kw を発生する電気駆動モーターの最大トルクは、650Nm(480lb-ft)です。この瞬時のハイトルクを実現する電気駆動モーターにより、圧倒的な性能が実現しました。ダッジ EV の 0~60mph(0~95 km/h)加速は 5 秒未満、0~1/4 マイル加速は 13 秒となっています。また、最高速度は 120mph(193 km/h)です。

最新の先進リチウムイオンバッテリー技術を使用することで、ダッジ EV の連続航続距離は 150~200 マイル(241~321km)と大半のユーザーの日常の平均走行距離の 3 倍以上を実現しました。車両の充電もシンプルな 1 ステップで完了します。ユーザーは家庭用の標準 110V 電源に 8 時間つなぐだけです。さらに通常の家計用 220V 電源を使用すると、充電時間は半分の 4 時間に削減されます。

ダッジ EV は、ガソリンを消費することなく、排出ガスゼロで日常の走行に使用することのできる、高性能スポーツカーを走り好きのユーザーに贈ります。

## ジープ EV

ジープ EV 開発車は今回、名高いジープ・ラングラーの性能によって、「どこにでも行ける、何でもできる」クルマの未来を開くことに成功しました。

ジープ EV は、地球を気ままに走りながらも地球を守る能力をユーザーに提供することで、ラングラーの比類なきオフロード性能と究極の「自然に優しい走り」を融合しています。

このジープ EV レンジエクステンダー搭載電気自動車には、電動モーター、先進のリチウムイオンバッテリーシステム、小型ガソリンエンジン(必要な場合に追加でエネルギーを発生し、電気駆動システムに電力を送る一体型電気ジェネレーター付き)を使用しています。最高出力 200kw(268hp)を発生する電気モーターの最大トルクは、400Nm(295lb-ft)です。ジープ EV の航続距離は、ガソリン約 8 ガロンを使用して 400 マイル(644 km)。そのうち 40 マイルを燃料消費ゼロ、排出ガスゼロでフル電気走行することが可能です。

ローズは次のように話しています。「現在、ホイール内部へモーターを装着した 4WD の可能性も模索し、ENVI の先進の電気駆動技術を最大限に誇示したいと考えています。」

電気駆動モーターの瞬時のハイトルクと各ホイールを独立して正確に制御する能力によって、オフロードでの走行性能を犠牲にすることなく、ジープブランドに最適のオフロード性能を実現することができます。

### **クライスラーEV**

クライスラーEV 開発車は、セグメントのベストセラーミニバン、クライスラー・タウン&カントリーをベースとして ENVI の電気駆動技術のもう 1 つの可能性を示す、レンジエクステンダー搭載電気自動車です。

ローズは次のように話しています。「クライスラーEV によって、クライスラー・タウン&カントリーは 7 人乗りの性能と豪華さを電気駆動技術と融合し、家族で妥協なく使用できる実用性を示すことができました。ENVI の電気駆動開発車は、クライスラーの将来の商品ラインアップのさまざまな車両に、さらに多くの電気駆動システムを適用できることを示しています。」

クライスラーEV では、一体型の小排気量ガソリンエンジンと電気ジェネレーターに電気自動車の電気駆動コンポーネントを組み合わせることで、必要な場合にエネルギーを生成し、電気駆動システムに電力を供給することができます。これにより、電気自動車のすべての特性を実現しながらも、妥協のない、現代のガソリンエンジン搭載車と同等の航続距離が実現しました。

クライスラーEV には出力 190 kW (255 hp SAE)、トルク 350 Nm (258 lb-ft) のモーターが使用され、0~60 mph (0~95 km/h) 加速は約 9 秒となっています。クライスラーEV レンジエクステンダー搭載電気自動車はバッテリーだけで 40 マイル走行することができ、ガソリン約 8 ガロンを使用し、400 マイル (644 km) 走行することができます。これによって、クライスラーEV は燃費の良い完璧なファミリーカーとなりました。

クライスラーEV から得られた知識と経験は、クライスラーの前輪駆動ラインアップに適用されることになっています。

### **エネルギー省との共同事業合意**

クライスラーとゼネラル・エレクトリック (GE) 社は共同で、先進のエネルギー貯蔵技術を研究するための米国エネルギー省とのプロジェクトを遂行しています。

クリーゴンは次のように話しています。「クライスラーが GE と提携することで、クライスラーの電気自動車で示された電気駆動技術と GE の先進のエネルギー貯蔵システムの研究開発が結びつけられました。エネルギー省との共同作業における全体的な目標は、電気自動車のバッテリーパックを小型化し、現在のものよりもコストを大幅に低減することのできる、新しい一体化されたエネルギー貯蔵システムの開発にあります。」

クライスラーおよび GE は、GE 独自の技術によるデュアルバッテリーソリューションの開発と評価を行う予定です。

クリーゴンは次のように話しています。「電気自動車を開発する上での挑戦の 1 つは、例えば加速中などのパワーと長い航続距離に対するエネルギーの正しいバランスを実現する 배터리

ーを探すことです。パワーに偏向した特性とエネルギーに偏向した特性の2つの異なるバッテリー特性を1つのバッテリーパックへ融合することで、クライスラー電気自動車の将来は非常に明るいものになると信じています。」

- # # # -